



財産の状況

バランスシート（貸借対照表）は、企業の財政状態を明らかにするため、保有するすべての資産、負債および資本を表示したもので、株主などに会社の経営内容を知ってもらうために作成される報告書です。
次の表は、平成21年度末現在での水道事業の財政状態を表したものです。

区 分	金 額	区 分	金 額
固 定 資 産	82億 127万円	流 動 負 債	1億1,229万円
有形固定資産 (建物・配水管・水道メーターなど)	82億 127万円	未払金 (未払いの債務)	5,860万円
		前受金 (概算払いの水道料金)	18万円
		その他 (下水道料金預り金など)	5,351万円
流 動 資 産	5億 685万円	資 本 金	66億5,817万円
預金現金 (手持資金)	3億8,770万円	自己資本金 (建設改良積立金の取崩額など)	15億2,265万円
未収金 (未納水道料金)	1億1,728万円	借入資本金 (企業債)	51億3,552万円
貯蔵品 (たな卸資産)	184万円	剰 余 金	19億3,766万円
その他流動資産	3万円	資本剰余金 (工事負担金など)	15億8,972万円
		利益剰余金 (減価積立金など)	3億4,794万円
資 産 合 計	87億 812万円	負 債 ・ 資 本 合 計	87億 812万円



水道管布設工事の様子

水道施設整備の状況

平成21年度に実施した工事は次のとおりです。

区 分	工 事 内 容	事 業 費
送配水管新設工事	幹線となる配水管などを布設し、水道水の安定供給を図るための工事を行いました。	6,012万円
送配水管改良工事	赤水発生の解消や地震などの災害に強い水道施設の整備を図るため、老朽化した配水管の改良 (更新) 工事を行いました。	4,206万円
送配水管移設工事	公道の拡幅工事に伴い、配水管の移設工事を行いました。	1,446万円
水道メーター取替工事	計量法で定められている水道メーターの取り替え (8年ごと) の工事を行いました。	2,560万円
その他設備工事	登別温泉浄水場変圧器の取替工事を行いました。	43万円

水問い合わせ

水道グループ

☎ 85 5 5 0 1

FAX 85 5 8 0 5

借入金の状況

安定した水の供給を維持するためには、常に浄水場や配水管などの水道施設を整備し、また、これから施設更新時期を迎える水道施設を計画的に整備していく必要があります。この整備には、莫大な資金が必要になり、手持ちの資金では賅うことができません。

そこで、国などから資金を借入し、水道料金の中から返済しています。水道事業では、この借入金を『企業債』と呼んでいます。また、この借入金は、財政的負担の軽減や将来、利用する市民にも公平に負担してもらうという目的も含め、長期の計画で返済しています。

平成21年度末現在の借入元金残高は、51億3,553万円となっています。これを給水人口1人当たりに換算すると9万9,930円になります。